

令和3年度 第1回磐田市遠江国分寺跡整備委員会

1. 開催日時 令和4年2月20日(日) 15:30 ~ 16:30

2. 開催場所 磐田市役所西庁舎 302・303会議室

3. 出席者

- (1) 整備委員 上原真人委員、石上英一委員、中島義晴委員、平野吾郎委員
秋山勝則委員、小栗宏之委員、澤元教哲委員、小杉達委員
小杉泰久委員、大場雅行委員 (箱崎和久委員は欠席)
- (2) 助言 静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課 武田寛生
- (3) 磐田市 村松啓至教育委員会教育長
- (4) 事務局 市川教育部長、伊東文化財課長、竹内課長補佐、大村主任
鈴木主事、安藤会計年度任用職員
- (5) 実施設計委託業者 (株)フジヤマ 渥美、中村、杉山
- (6) 傍聴者 なし

4. 会議要旨

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 磐田市教育長あいさつ
- (4) 静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課あいさつ
- (5) 委員長・副委員長選出
- (6) 委員長・副委員長あいさつ
- (7) 議事

[1] 令和3年度 遠江国分寺跡整備事業の報告

事務局 令和3年度事業として、①史跡指定地の公有地化、②樹木整理、③整備工事、④実施設計を進めているところである。

委員 樹木整理について、残す木と残さない木の区別について再度確認したい。

事務局 樹木整理については、複数の要因に基づいて方針を定めている。

- ・地下の遺構を損傷しているものは伐採する
- ・整備工事の妨げになるもの伐採する
- ・奈良時代当時には樹木はないものと想定し、古代寺院の広がりを感じられる整備を行う
- ・地元学生より「怖い公園」であるとの意見があり、防犯上の対策を考慮する
- ・これまでの委員会にて地区長より、樹木整理を進めてほしいとの要望があった
- ・強風や地震等により倒木の恐れがあるものは伐採する

委員 中門や回廊の上には南側から上がれないのか。スロープを使用した見学順路について検討しているか確認したい。

事務局 回廊の南側にはスロープを設置するよう実施設計を行っている。また、スロープも含めた見学順路について、これまでも検討を重ねている。

[2] 来年度以降の計画について

事務局 来年度は僧房・講堂の整備工事を計画している。金堂や塔、南大門など主要部分については、今後3か年をかけて整備していく予定である。その他施設整備や整備事業報告書の刊行を含めて、現段階では令和8年度に事業が完了する見込みである。

委員 今後について、活用という面も検討していくべきという話がある。来年以降の国分寺整備計画、その他事業にこういった面も組み込んでいただくことはできないか。私たち地域、それから磐田市民や近隣の一般の方には、活用のほうがより身近である。また工事も進み、整備事業がより身近に感じられるようになった。そういう意味では、検討プロジェクトという形がいいかどうか分からないが、この会議だけではなく、別の形でプロジェクト化等を検討いただきたい。関係各課、関係機関、団体、地域も含め、プロジェクト化を一気に全部ということではないが、早期に立ち上げてもらい、活用ということを広め、国分寺整備をより大きな成果に結び付けていくことが重要じゃないかなと思う。

事務局 庁内の場合だと、文化財課は経済観光課と人的な交流もあり、他の部局に比べると身近で連携しやすい。そのような交流も含め、しっかりと他部局との連携を取っていきたいと思う。

[3] 令和3年度 遠江国分寺跡実施設計について

事務局 照明の設計について、ポールライト、フットライト、埋め込み式照明をそれぞれ検討している。ポールライトは下方を中心に照らすタイプ、フットライトは円柱形で全方向を照らすもの、埋め込み式照明は今之浦公園や磐田駅前に使用されているものと同じタイプを事務局案として提案する。

委員 災害時における耐久性が気になる。近年想定を上回る規模の災害が発生していることもあり、ポールライトの具体的な耐久性について数値的なデータを伺いたい。

実施設計委託業者 風速60m/sまでは耐えることができる。地震については、どこまで耐えられるか考慮しているものが少なく、はっきりとは言えない。

委員 ライトを整備すると夜間でもだいぶ明るくなると思う。近隣への影響もあるだろうから、住民とも話し合った方がいい。また、現在国分寺公園（公園北側）にあるものと新設のものはデザイン的にバランスがとれるのか。

事務局 近隣住民には説明を行っていくつもりである。また、夜間におけるライトの点灯時間についてはタイマーで調整可能のため、深夜には消灯することも検討する。新旧ライトのデザインについては、古いものを取り換える際に新しいデザインに合わせていくつ

もりである。

委員 給電管理はどこが行うのか。

事務局 磐田市文化財課が管理する。

委員 埋め込み式の照明はどのようなものを考えているのか。

事務局 直径9 cmほどの照明を考えている。今之浦公園や磐田駅前にも使用されているものである。

委員 ライトの点灯は何時ぐらいまでを考えているか。近隣の学校の生徒が部活帰りで遅くなったときに消灯していると暗くてライトに接触する恐れがある。また、ウォーキングの人もいるだろうから、安全の確保を考慮してほしい。

事務局 以前学校の職員より話を伺ったところ、部活は7時くらいまでやっているとのことであった。そのため、8～9時ぐらいに消灯しようと考えていた。ただ、もっと遅くまで活動している生徒もいるかもしれないため、再度学校に確認をとりたい。

委員一同 照明のデザインについては、事務局案を採用していく。

[4] その他

委員 史跡公園内の園路は自転車での走行が可能か。

事務局 可能である。

委員 今後の整備事業費について、国や県からはどれぐらい補助がでるのか。また、整備事業について文化庁も承知しているのか確認したい。

事務局 事業費については、総事業費の1/2までを国が、残額の1/3までを県(上限有)が補助することができる。遠江国分寺跡整備事業については、文化庁にも認めてもらい進めている事業になる。

(8) 閉会